

■ 嵐の前の… ■

問題. 次の空欄を埋めなさい。 嵐の前の[ ]。

十数年前だったか、題名は覚えていないが、ある本でこんな問題を見た。芸人が書いた本だったので、ひねりがあるのだろうと考えたが、「静けさ」しか思い浮かばなかった。答のページをめくると「V6」とあった。これは面白い！ 胸にストーンと落ちた。

問題文の「嵐」が人気アイドルグループを指すと気づいても、それ以前に人気のあったグループはなかなか浮かばない。言われてみれば、嵐が一世を風靡する前に人気を博したジャニーズ所属のグループはV6だった。すぐには思い出せないほど芸能界の表舞台の入れ替わりは激しい。

その世界で、20年もトップを走ってきた嵐が来年いっぱいでの活動休止を発表した。

「一回立ち止まって自分を見つめ直したい」(大野智)。「誰か一人の思いで嵐の将来を決めるのは難しいと思うと同時に、他の何人かの思いで誰か一人の人生を縛ることもできない」(櫻井翔)。「このメンバーじゃなかったら20年できなかった」(相葉雅紀)。「『やっぱり嵐っていいな』と書いていただける(残り)2年にしたい」(二宮和也)。「先のことは明言できないですね。また5人で再開できればなと思っています」(松本潤)。

静けさを一変させる突然の「嵐」の会見だった。大野が初めて話を切り出してから1年半以上という。納得するまで話し合いを重ねてきたのだろう、5人は表情が明るく、丁寧で、誠意に満ちていた。そして、ファンのために今後約2年間の活動を続けるという。

人生を見つめ直すにはとてもいい年齢だと思う。10代からアイドルとして走り続けてきた人だから、人生を自問する思いが出てくるのは、至極自然なことだ。1人の大人の選択として尊重したい。

安室奈美恵が引退し、滝沢秀明がジャニーズのマネジメントに専念し、嵐の大野智が活動を休止する。このような人生の選択を見ていると羨ましくも感じる。新しい自分の可能性を探してみたい、別の世界に自分を置いてみたい。誰もがこのような思いに駆られた経験があるだろう。

だが、勘違いしてはならない。彼らに共通するのは、一つの大きなことを成し遂げて、表舞台を去るということだ。うまくいかなくなっても途中で投げ出したのでもなく、青く見える隣の芝生に移り住もうとしているのでもない。

多くに愛され惜しまれるところまで上りきって、次の世界へ移る。だから、それぞれに潔く清々しく格好いい。これからの人生も多くの人の憧れであり続けて、と願う。

